



1997

8

No. 445

玉造



デポジット

新田子供会の霞ヶ浦クリーン作戦

New Angle

&

Best Plan

地球にやさしい水利用と浄化を探る

「平和」を家族で語ろう！

心豊かで楽しい農業経営戦略のすすめ

行政情報：ふれあい七夕まつり協力に感謝

まちかどテロップ：ヤマトタケルを訪ねる小さな旅

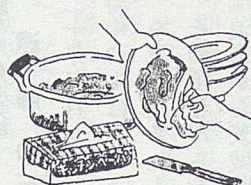
生活排水をきれいに



みず

蛇口をひねればいつでも欲しいだけ手に入る水。清らかなこの水も捨てる時には嫌われものの汚水となり排水管へ。「命の水」も使えば汚れます。私たちは、水を使う権利は当然のように主張しますが、使った水に対してどのように感じ考えているのでしょうか。生活排水の在り方を見つめてみましょう。

家庭から出る排水は何処へ



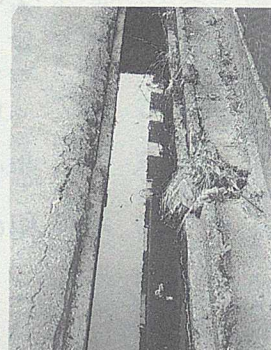
し尿を未処理のまま水域に放流することは法律で禁止されています。このため水洗トイレの排水は、下水道処理等施設や各家庭で設置している単独浄化槽で処理しています。汚泥を凝集沈殿させ取り除いたあとろ過し、これを数回繰り返して最後に消毒し、きれいになった水を排水溝から霞ヶ浦に流しています。

しかし、その他の生活雑排水、台所、浴室、洗濯等で利用された水は、そのまま排水溝へ流しても禁止事項が設けられておりません。町内でも、農業集落排水処理をしている根本地区や合併処理浄化槽を設置している家庭を除いては、生活雑排水は近くの川や水路を経由して霞ヶ浦まで垂れ流ししているのが現状です。

「魚が棲める水」にするために必要な水の量

これだけ捨てると	これだけの水が必要
天ぷら油 大さじ1ばい(18g)	3m ³
牛乳 1本(200cc)	3000ℓ
酒 おちょこ1杯(20ml)	810ℓ

意外に水質汚濁の一番の原因だったのです。



台所からよごれがいつばい
洗剤は環境にやさしいといわれるものを使うけれど、ラーメンやおでんの汁は流しへザーツ。そんな経験はありませんか。
食べかすのついた食器を直接流しで洗ったり、煮汁を直接流しに捨てたり、日常意識されずに行われていることが

みんなにできる

水質汚濁予防法

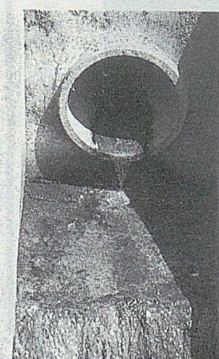
洗濯の時に使う洗剤、入浴時の石けんやシャンプーなどは、必要量以上使わないのが鉄則ですが、それでも現代社会において、その効果を考えれば有効活用しているのが現状で、一定量は排水せざるを得ないのが現状です。

しかし、台所の調理などで出るゴミ、食べ残しや食器の油污れなどはわずかな工夫で水の汚れを防ぐことができます。

使い終わった調理器具や食器をポンと流しに置き水洗いする前に、新聞などで一拭いすると、油污れの多くは取り除くことができます。

「知っているよ！」と思う前に家庭で職場で実践してみたいかがでしょう。みんなで一声掛け合っている間に、地球にやさしい生活習慣が身につくそうです。

自然との共生をめざす玉造のまちづくりの心です。



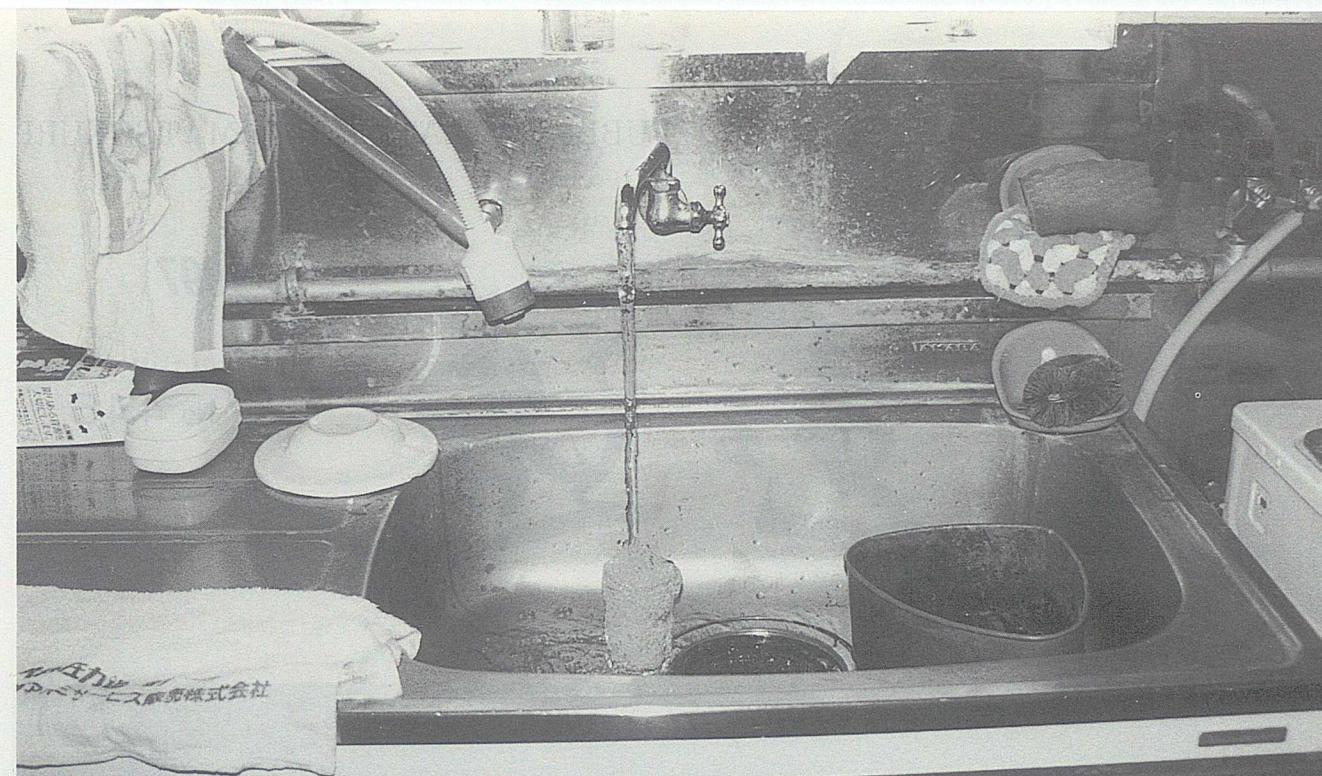
▽食事の残飯や調理くずが流れないような目の細かいストレーナーや三角コーナーを使いましょう。
▽残った天ぷら油は、固化剤で固めて廃棄するか、紙で吸い取り処理する。
▽食器についたソースや煮汁は、紙で拭き取る。
▽みそ汁、うどんの汁などは捨てるほど作り過ぎないよう心掛ける。

台所でちよつと工夫

新しい息吹を水に下水道

9月10日

全国下水道促進デー



地球にやさしい 水利用と浄化を探る

あなたの使う水は無限ですか？

使った水はどうなるのでしょうか？



平和 を家族で語ろう

学校教育現場では、教科書あるいは教師自らの聞き取りや研究研修等の間接経験により戦争や平和についての学習が続けられています。しかし、マスメディアをとおして伝えられる世界の戦争映像は、ビジュアルゲーム感覚や戦争が美化されることさえ危惧されるものと化しています。

いま、平和の尊さを考え、戦争の悲惨さ酷さを見つめる積極的な「平和の語り」を地域家庭でも実践するときです。

一通の手紙

学徒動員の思い出

岐阜県多治見市
遠藤 伊三夫

昭和二十年三月九日といえば、戦時中の人はあの「東京大空襲」を思い出されると思います。その頃私たち七名は、岐阜県瑞浪市から茨城県行方郡玉造町の開墾作業に「学徒動員」され、静岡県浜松市付

近を東上しておりました。ところが、品川駅に着いたところこれより先は不通でした。想像以上の空襲被害が出ておりましたので仕方なく東京駅に向けてあるくことになりましたが、どこではぐれたのか散り散りになってしまいました。それでも半数は千住経由で上野に出て目的地に着きました。残りも再度直出すことになりました。

玉造町での生活は、小学校で合宿することになりました。

富田写真館にて

昭和20年



後列左端が遠藤さん

あつた事実、忘れません

平和の維持には
があります…

52年前まで戦争が

自然との共生と
何か共通するも

平和教育

地域や家庭でも戦争体験者が減り、直接お話を伺えなくなってきました。

東京都や埼玉県では、平和に関わる博物館施設等もありその活動も積極的です。

茨城県における博物館活動や生涯学習事業は、人寄せ興行志向であり、人権や平和を考える地道な活動は希薄な状況にあることは否めません。

しかし、目立たないものの市町村での積極的な取り組みも行われています。

水戸市では平和事業の一環として、青少年を「広島平和大使」として、原爆投下の地広島へ派遣しています。

文学と映像の語る平和

身近なところでも、戦地で苦労された方、銃後で厳しい生活を強いられた方、愛する夫や息子を戦場に送りいまだに心の傷が痛む方、あるいは空襲や被爆された方などそれぞれ立場で違った戦争体験をお持ちです。

しかし、戦後五十二年を経て、戦争体験者も高齢化を迎えており、この戦争語り部に代わるものとして本やビデオの活用が考えられます。

家庭でのビデオ鑑賞、PTA母親文庫や読書グループその他地域グループでの輪読などをとおして、平和について話し合ってみましょう。



玉造町立図書館を ご利用ください

- ★(戦)争(を)考(え)る(書)籍
- ★おこりじぞう
- ★ルミちゃんの赤いリボン
- ★ほたる

七人は今も元気に頑張っており。去る七月十九日には、玉造町の町勢要覧や資料を肴に皆が一堂に会して思い出話に花を咲かせることができました。

夜は対岸からの探照灯に映し出された玉造の町が、私たちにとっては美しく良い処としていまでもなを心に残っております。

申し遅れましたが、私たちのまちは、岐阜県東部で陶磁器の産地として知られております。

- ★母と子で見る広島・長崎
- ★ひめゆりの乙女たち
- ★ひめゆりの沖縄戦
- ★ひめゆりの塔
- ★ひめゆりたちの祈り

- ★(平)和(を)見(つ)め(る)ビ(デ)オ
- ★はだしのゲン
- ★はだしのゲン2
- ★一つの花
- ★予言
- ★にんげんをかえせ
- ★炎の証言
- ★おこりじぞう(十六mmフィルム)

お問い合わせ・貸し出しについては、玉造町立図書館玉造町中央公民館裏)まで

☎五五―一四九五

平和 ライブラリー への招待





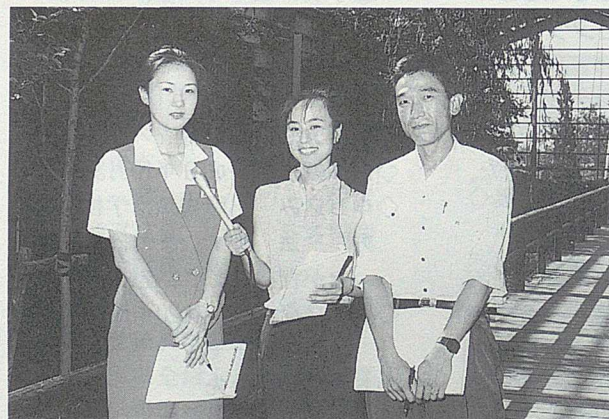
すてきな人の住む すてきなまち



霞ヶ浦ふれあいランド内

ホテル水路を試験一般公開

～ゲンジボタルやヘイケボタルの飼育に成功～



水資源開発公団で平成8年度に建設した「ホテル水路」で飼育していたゲンジボタルとヘイケボタルの幼虫がふ化し、艶やかな光の舞を披露しました。

同公団と霞ヶ浦ふれあいランドでは、7月19日から21日の3日間、午後7時30分から午後9時までの夜間に限り、試験的に一般公開を行いました。

町内でもヘイケボタルの生息地はありますが、数は減っており、間近にホテルを見ようと1,000人に及ぶみなさんが来館され、夕べのひとときを楽しみました。

この公開に先立ち、茨城放送の取材があり、玉造町開発公社勤務の鈴木さんや水資源開発公団職員椎名さんの説明で、県民のみなさんにも紹介されました。



今回、はじめてパソコンネットを利用したテレビ会議を行い、土浦と水戸にも質問会場を設け、霞ヶ浦ふれあいランドにいる先生方に質問するなども楽しく交信を行いました。

玉造会場では、霞ヶ浦自然観察会でブランドンや農産物フェア等の催しがありました。また、霞ヶ浦の自然について、魚、植物、昆虫など専門分野の先生方を招き、なんでも相談が開催されました。

玉造西少年野球魂燃える

玉造町近隣少年野球大会で3位入賞果たす



7月6日と14日の両日にわたって熱戦が繰り広げられた第16回玉造町近隣市町村少年野球大会で、玉造西ファイターズが強豪のクラブチーム等を相手に善戦し3位入賞を果たしました。

玉造町の少年野球は、ファイターズやブルーナインはじめ県内でも屈指の強豪チームが多くありましたが少子化や他のスポーツとの競合等に加え、県内に本格的な少年野球のクラブチームが続々と誕生するなどの背景により低迷していました。今回のファイターズの入賞は、飛び抜けた選手不在の中、練習とチームワークの勝利のようです。伝統ある玉造少年野球の復活となりそうです。



七月二十一日(日)、玉造町や土浦市をメイン会場に霞ヶ浦フェスティバルが開催されました。この事業は世界湖沼会議を受けて、県民が霞ヶ浦を見つめ湖水の浄化など理解を深めていたことが企画されているものです。

パソコンネットで

霞ヶ浦なんでも相談
霞ヶ浦フェスティバルを開催

第12回 ナイトハイキング

やっぱり玉造の夏は 史跡探訪とおにぎりだネ!

恒例になったナイトハイキングが、台風12号の影響のある天候を気にしながら今年も開催されました。

7月26日(土)午後3時、玉造町中央公民館を出発、ヤマトタケルのくに～風土記の世界へと向かいました。総勢120名の長蛇の列は、自分の足で大地を蹴り、自分の目・耳・鼻・肌など、からだ全体で玉造の自然を感じながら進みました。清らかな水、谷をわたる風、小鳥たちのさえずり、ナイトハイキングならではの体験も味わえました。

また、生活大学のみなさん自慢のおにぎりや漬物、そして冷たい麦茶での夕食は、「幸せー!」の一言。これからは玉造発見の旅にチャレンジできそうです。



空手女子2選手

茨城県大会で大活躍

水戸市総合運動公園体育館を会場に開催された第23回茨城県少年空手道選手権大会において、玉造町から参加した選手が持ち前の力を発揮して良い成績を納めました。中でも玉造中学校1年生の栗原有紀さんが形の部で3年連続の優勝、組手でも準優勝を果たしました。そして、玉造小5年の栗野恵理子さんも形で準優勝組手で3位と健闘しました。

また、団体の部出場の玉造小4年生の関口智之くんを含め3名が、駒沢オリンピック公園体育館で開催された全国大会に出場、力いっぱい試合をしました。



B & G スポーツ仲間の祭典

平成9年度B & Gスポーツ大会 茨城県大会を開催



7月20(日)の海の日、玉造町B & G海洋センターを会場にB & Gスポーツ大会茨城県大会が開催されました。

北茨城市、水府村、岩間町、石岡市、小川町、玉里村、千代田町、八千代町、五霞村、そして玉造町の県内10センターでスポーツを楽しむ子どもたちが集い、水泳と剣道に日ごろの練習成果を競いました。優勝経験を持つ玉造町でしたが、この日の大会では入賞はできませんでした。

また、郡や地域を越え県内各地から集まった選手たちは各々楽しく交流をしていました。

母子福祉の向上に貢献

～ 根崎律子さん(西蓮寺)に知事感謝状 ～

平成3年から6年間の長期にわたり母子福祉協力員として奉仕活動を実践されてきた根崎律子さんに、茨城県知事より感謝状が贈られました。

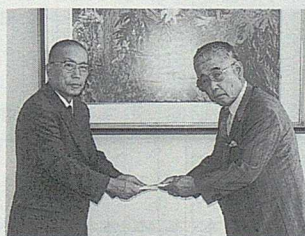


この母子福祉協力員制度は昭和33年からスタートしたもので、経済的、社会的そして精神的に不安定になりがちな母子寡婦家庭の相談役そしてプランナーとして活動しているものです。

教育機器を寄贈

～ 幡谷卓三さん(羽生)が
教育委員会にパソコンを ～

この度玉造町教育委員会に情報教育の推進のためにとパソコン一式が贈られました。本町では、中学校ばかり



でなく各小学校にも配備されていますが、パソコンは機種も半年単位で新しくなるなど変化も激しく、寄贈され利用先となった玉造西小はホームページも開いており、先生・児童とも更なる活用を楽しみにしています。

茨城県職員採用試験のお知らせ

茨城県人事委員会では、茨城県職員の採用試験を行います。下記の試験区分・採用予定です。

◇受付期間 8月18日～9月2日

◇1次試験 9月28日(日)

◇県職員〈中級〉

○事務 40名程度

○土木 5名程度

◇県職員〈初級〉

○事務～知事部局 20名程度

教育委員会 10名程度

警察本部 5名程度

○土木 5名程度

○建築 1名程度

○化学 1名程度

○農業土木 1名程度

○林業 1名程度

○交通巡視員 5名程度

◇小中学校職員〈中級〉

○栄養士 3名程度

◇小中学校職員〈初級〉

○事務～県全域 15名程度

県南地域 5名程度

◇受験資格

○中級 昭和46年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた人。栄養士については平成10年3月31日までに免許取得見込みの者

○初級 昭和51年4月2日から昭和55年4月1日までに生まれた人。交通巡視員については女子に限りです。

◇試験方法

○中級 第1次試験

教養試験～択一式

専門試験～択一式

論文試験

○初級 第1次試験

教養試験～択一式

専門試験～択一式

土木・建築・化学・農業土木
林業職のみ実施

◇お問い合わせ先

茨城県人事委員会事務局

〒310 水戸市三の丸1-5-38

☎029(221)8111 内線5322

暮らしに活きる

情報 スクランブル

町民のみなさまにお知らせしたい
イベント企画や展覧会など身近な情報をお寄せください。

ものを大切にする 紙芝居作品募集

◇応募資格

県内に居住または勤務する者

◇テーマ

小学校低学年以下を対象に「資源・エネルギーを大切にする心を育てる」ことを訴えるもの

◇募集期間

平成9年9月1日～10月31日

◇作品企画

10枚程度、B3判の厚紙

◇お問い合わせ並びに応募先

茨城県生活環境部環境政策課

☎029(221)8111 内線2113

海上保安大学校・海上保安学校の学生募集のお知らせ

	海上保安大学校	海上保安学校
受 付 期 間	平成9年8月28日(木)～ 平成9年9月9日(火)	平成9年8月18日(月)～ 平成9年9月1日(月)
受 験 資 格	昭和52年4月2日以降生まれで 高卒者または平成10年3月までに卒業見込みの者など	昭和49年4月2日以降生まれで 高卒者または平成10年3月までに卒業見込みの者など
第1次試験日	平成9年11月1日(土) 平成9年11月2日(日)	平成9年9月28日(日)
入 校	平成10年4月	平成10年4月
就 学 期 間	4年間	1年間又は2年間
在学中の身分	国家公務員	国家公務員
待 遇	在学中給与支給 授業料不要	在学中給与支給 授業料不要

お問い合わせ先：〒314-01 茨城県鹿島郡神栖町大字東深芝9番地
鹿島港湾合同庁舎内

鹿島海上保安署 ☎0299(92)2601

放送大学 教養学部 茨城地域学習センター 学 生 募 集 学びたい！それが入学資格です

放送大学は、生涯学習の時代に即
応し、放送等を効果的に活用した教育システムです。

この度開所する地域学習センターは、限られた放送授業の視聴範囲を将来全国的に拡大するための一環として設けられたもので、生涯学習の新たな要望に応えようとするものです。

◇地域学習センターの特徴

★幅広い分野の科目が学べます

★マイペースで学べます

★18歳以上なら試験なしで入学

★年2回の入学チャンス

※土曜・日曜も利用できます。

◇学生の種類

★選科履修生 2学期間在学

★科目履修生 1学期間在学

◇資料請求並びにお問い合わせ先

〒310 水戸市文京2-1-1

放送大学 茨城地域学習センター

☎029(228)0683

Good-bye Summer 97 チャリティーバンドフェスティバル

日 時 平成9年9月7日(日) 13:00～19:00

会 場 霞ヶ浦ふれあいランド 野外ステージ

出 演 県内外で活躍するジャズバンド5～6グループ

入 場 料 1,000円(親同伴の小学生以下の子どもは無料)

座 席 数 約500名

主 催 鉦田青年会議所

お問合わせ先 霞ヶ浦ふれあいランド ☎0299(55)3927

応援します！職場のいきいき健康

鹿行地域

産業保健センター

鹿行地域産業保健センターでは、事業主や労働者のみなさまのご要望・ご相談をお待ちしております。

◇健康相談の窓口の開設

医師や保健婦が相談に応じます。

健康診断書結果の見方、成人予防法、従業員の健康管理、メンタル

ヘルスの進め方等。

◇電話受付日時

毎週火曜日 9:00～16:00

(ただし、12:00～13:00は除く)

◇訪問による産業保健相談

医師が希望に応じて、事業所を訪問し、健康管理等のご相談に応じます。

◇産業保健情報の提供

日本医師会認定産業医、労働衛生機関等の情報を提供いたします。

◇連絡先

鹿行地域産業保健センター

〒314 鹿島市宮中1998-2

(社)鹿嶋市郡医師会内

TEL 0299(90)3440

FAX 0299(90)3441

「建設業退職金共済制度」 を活用しましょう。

中小企業退職金共済法に基づき事業所を替えても同じ建設業界であれば通算して支払われます。
連絡先 建退共茨城県支部
☎029(225)0095

高校奨学生を予約募集中！ 病気遺児・災害遺児・震災遺児 あしなが奨学金

あしなが育英会の奨学金は「あしなが」さん「あしなが学生募金」「あしながPワーク」など温かいご寄付で運営されています。

◇奨 学 金 国公立 月額25,000円
貸 与 額 私 立 月額30,000円

◇応募資格

①保護者が病気や災害・不慮の事故で死亡したり、著しい後遺障害で働けないため、

②学資に困っている、

③現在、中学生(成績不問)で、来春高校・高専進学をめざすもの。

◇募集人員 1,000人

◇採用方法 書類審査のみ

◇出願期限 平成9年10月31日

◇申し込み 出願書類は学校にあり方 法 ます。または直接あしなが育英会までご連絡ください。

◇返 還 卒業後20年間で割賦返済。無利子です。

◇お問い合わせ先

あしなが育英会

〒102 東京都千代田区平河町1-

6-8 平河町貝城ビル

TEL03(3221)0888

FAX03(3221)7676

高齢者のためのなんでも相談室

(財)茨城わくわく財団

高齢者やその家族の方々が抱えておられる様々な心配ごと・悩みごと等につ

いて、総合的な相談に応じ
ていますので、お気軽にご
相談ください。また、各種情
報提供も行っています。

◆相談会場

茨城県総合福祉会館2階

茨城県高齢者総合相談セ
ンター

〒310 水戸市千波町1918

☎029(243)8822

(ブッシュホン#8080)

◆相談方法

電話・面接・手紙等

◆休 所 日 年末年始

10月10日(体育の日)

相談種別	実 施 日 時	内 容	相談員
一般相談	毎日 午前9時～午後5時	福祉、介護、保健、年金 社会保険など高齢者の生活全般にわたる相談	一般相談員
法律相談	毎月2回 第2第4月曜日 午後1時～午後3時	扶養、遺産相続などの法律について	弁 護 士
住宅相談	毎月1回 第2火曜日 午後1時～午後3時	建物の新築、増築、改築 など住宅について	一級建築士
税金相談	毎月2回 第2・第4水曜日 午後1時～午後3時	所得、相続など税金について	税 理 士
医療相談	毎月1回 第2木曜日 午後1時～午後3時	病気、食生活、健康など 医療について	医 師
登記相談	毎月1回 第2金曜日 午後1時～午後3時	土地、建物の登記について	司 法 書 士

『やるときはガンバル 二年二組』

リポーター
 青木 克也

ぼくたち二年二組は、あかるくて、みんなですけ合うことができるクラスです。こまっっている子やない子には、すぐになやみやしんばいごを聞いてあげることが出来ます。

また、みんなスポーツが大好きで、休み時間にはドッチボールやリレーをやっています。もしまけても、おこつたりともだちをせめたりしないで、明るくいられるのが二年二組です。

じゅぎょう中も、すすんではっぴょうしたりしつもんをしたりして、みんなで考え合うことができます。

ぼくたちのたんにおかへ先生はやさしい先生ですが、ときにはきびしくしてくれます。先生はぼくたちのクラスをしっかりとクラスにしたいから、すこしきびしくしてくれるんだと思います。



先生はぼくたちがこまっっている、こえをかけてなくさめてくれます。だから、ぼくたちはあん心して学校にいくことができます。

先生もぼくたちもファイトがあつて、できることはなんでもやるクラスなので、これからますますよいクラスになっていくとほくは思います。これからもみんなで楽しくすごしていきたいです。

ぼくたちの先生

霞ヶ浦湖岸の遺跡にスポット

三味塚古墳を代表とする沖洲古墳群の再研究

昭和三十年の発掘調査により馬型金銅製冠等「国重要文化財級」の貴重な遺物を出土している玉造町大字沖洲に所在する三味塚古墳が、新たな存在意義を示しています。

玉造町教育委員会では文化財保護審議会の答申を受け平成二年に町指定史跡としました。その後、墳丘部分と周溝の一部を町有地として保護しています。また、崩壊した腐食土や削平部分を生かして、地元沖洲区や沖洲子供会のみなさんの協力で草花の植栽等をして、文化財の活用と本町の玄関口の環境整備に努めています。

また、三味塚を巡っては教育委員会や文化財保護審議会はじめ文化財顕彰会等、多くの分野で保護整備計画や活用について討議されてきました。平成六年春には、整備復元も念頭に入れ周溝の学術調査を実施し、昭和三十年に調査を担当した明治大学大塚初重教授らゆかりの人々の指導の下に貴重な資料を得ることができました。

こうした動きを経て、現在沖洲土地改良事業の中で国家的文化遺産である三味塚古墳周辺の整備が検討されようとしています。今、沖積地に残る遺跡が新たな歴史を語ろうとしています。

たずとりがわ

戦後五十二年の月日は、人々の心をどれだけ変えたのでしょうか。全国には戦争で肉親を喪った遺族の方や戦争によって傷を負い、また精神的・物質的に大きな痛手を負って今だにその被害に悩む人々が力強く生きています。

また、近年諸外国から「従軍慰安婦」の戦後処理の問題や細菌部隊による殺戮に対する補償等、民主化の進んだアジア諸国の人々から多くの課題が突きつけられています。戦没者の追悼式や遺族会、そして軍隊の同期会等の活動を見るにつけ、戦争を憂い平和を希求する日本国民の心を感じます。

しかし、こうした「やさしい心」に勝るものが、日々の小さな行動との声もあります。大ヒット中の「もののけ姫」も叫んでいます。自然との共生、平和、民族の和、差別等多くを訴えています。人類が真の歴史を学ばず同じ過ちを繰り返すように、この映画も娯楽で終わるのでしょいか。

文学館

こぼれたる一粒もひろい米をとぐ隠居暮らしの老人吾は 高塚麻子

火星着太陽電池活躍す人知つくせし夢また夢 鈴木夢情

友よりのカボチャ届きて味よしと書き添えのありて夕餉待たるる 久米妙子

アスファルト道は続けどこににしてしばし家並は途切れたりけり 小沼正藏

検診の指示を待ちつつバリウムの白きににがり不安問い居り 島田敏子

病みて知る人の情より引く足に見知らぬ少女手を添え呉れし 飯田美枝子

丑三時思ひあぐねてペン取ればしじまにペンの音のみぞする 大和田まさる

台風のようにやく去りて山の辺に哀しきまでの夕映のあり 鈴木和代

孤独なる時失いし人等またケイタイ鳴りてそつと席立つ 鈴木節子

出逢う人出逢う人なれ懐かし 菅谷富栄

短歌

暮参道昔話にはながき歩むも楽し鶯の声 郡司春枝

山の端に虹を描きつ驟雨去りし遠き日想いて鳴子温泉に 八木みさほ

俳句教室

子燕が身をのり出せし昨日今日 藤川秀子

買うて来た南部風鈴鳴り止まず 永野一碩

夏草に道のしるべも沈みけり 成島久枝

裸の児盤を海として足れり 鈴木夢情

ジョギングの類に青田の風を受け 石毛正子

湖へ青田の風の伸びちぢみ 大和田秋海棠

子軽鴨親を見習ひ羽づくろい 山野草月

霞切に昏るる川辺に住み馴れて 長谷川鶏頭子

くらしの香抱いて漁師の夏帽子 武田淳子

紐つけて老いに優しい夏帽子 飯島伸子

さやさと波寄せるごと青田風 茂木孝子

スケッチに一筆添える入道雲

たまつくり

小島 てる代
 樹々の間に瀑布望みて足早に 遠藤輝子

筑波嶺をゆるするが如く雲の峰 小谷草洞

山梔子の香りしろじろ夕暮れる 鈴木和代

合歡の花永の別れの母に似て 石橋扶美子

蚊遣して転がり眠る児を守り 高野たま

山裾へ虹かかりたる湯治かな 八木草苑

櫓も竿も手慣れし子等の舟遊び 川島草人

俚謡教室

兼題「夏・草・兵・共・夢・跡」字結び

春夏秋冬ところを変えて沈む夕日に四季を知る 小野口とく女

梅雨を忘れた真夏の日差し農家喜ぶ稲の出来 岡野竹堂

泣いて笑って夢中で越えたあとはゆとりの古稀の坂 川島草女

追いつ追われつ狭庭で勝負草を相手に根くらべ



大曾根玉扇
 茂る夏草城跡巡りや哀れ苔むす五輪塔 藤崎藤娘

亡姉の命日指折りながら墓の草引く三年忌 坂本才依

夏の夕暮れ一汗流しビール一杯夢心地 橋本監

間延び売り声眠気を誘う語尾のメロデー夢現つつ 羽成せい子

過ぎた昔を恨みはせぬが夢で泣かすか罪な人 市村きよ女

暗い世相を飛ばして欲しい高校球児の夏の陣 さとう房子

髪を結い上げ鉢巻き襦袢粋なあの娘の夏祭り 関口育子

軒の風鈴音色に引かれ舟を漕ぎ出し夢心地 大輪しず女

共に歩んだ茨の道を友と涙で語り合う 磯山咲子

見かけ古いが音色は澄んで迷い風待つ夏の緑 河野有美

口はきかぬが仕草で分かる瞳つぶらな可愛い児 森作喜代

空を眺めて未来の夢を話す曾孫の目の光 村松茂伸

孫が火星に抱いた夢を老いを忘れて共に見る 成島青声

誕生おめでとう♡♡♡♡♡																										
おくりやみを申し上げます													出産（七月受付分）													
死亡（七月受付分）													保護者													
性別													性別													
年齢													年齢													
氏名													氏名													
ところ													ところ													
里山													浜寺													
八木時													西蓮寺													
羽生													根古屋													
上宿													緑ヶ丘													
捻木													西蓮寺													
舟津													中蓮寺													
中宿													高須													
羽生													宿井													
上宿													諸井													
里山													加茂													
下宿													山田													
金田													出沼													
清水													北澤													
根本													田中													
酒井													柿下													
亮吾													関野													
菜々恵													黒髪													
玲奈													奈津													
みずき													友也													
知世													天満													
彩海													和樹													
京香													勇人													
純平													山田													
高橋													北澤													
菅谷													高須													
藤田													宿井													
山田													諸井													
出沼													加茂													
北澤													山田													
田中													下宿													
柿下													上宿													
関野													里山													
黒髪													八木時													
奈津													舟津													
克希													中宿													
亮吾													羽生													
亮吾													上宿													
亮吾													捻木													
亮吾													舟津													
亮吾													西蓮寺													
亮吾													中山													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													
亮吾													西谷													

心豊かで楽しい農業経営戦略のすすめ



ユニークな発想の転換が必要
室井琴梅師匠、農業を語る

七月十五日、玉造町農村環境改善センターを会場に農政講演会が開催されました。玉造町農業委員会主催で昨年からの開催されているもので、作る農業から考える農業への変革をねらいとしています。

今年は、講師の室井琴梅さんを講師に招き、農業経済学者とは一味違った講演会となりました。講演では、前向き志向の大切さや水戸黄門の農政をユーモアを混じえ講じ、聴衆の笑いを誘っていました。

「がんばれ日本の農業」 農は国の基なり」
講演を聞いて思うこと

沖洲 岡田 晴雄

さすがに講師の講演とあって話し方に独特のリズムがあり、面白く聞くことができました。

農業の大切さや食べ物の大切さは、農業体験から生まれると話していました。

室井先生は、水稲を栽培してから食べ物の見方が変わったとのことでした。

例えば駅弁を食べる時、以前は蓋についたごはん粒には何の関心もなく捨ててしまいましたが、自分で米を作るようになったから、一粒一粒取って残さず食べるようになったそうです。

また、農業は食べ物を作るだけでなく環境を保つ役割があるということを知ったそうです。

ヨーロッパでは、自分の国の食べ物自分たちで守る考えがあり、その考えは小さい時からボランティアとして農家の手伝いをしていた農業体験によるもので農業の大切さです。

玉造町でも農業を継ぐ若い人たちが少数ですが出てきています。しかし、本町農業の担い手としての数にはまだまだ遠く及びません。

室井先生がこの講演で力説したような農業の考え方が全国に広まれば、農業後継者も増えて行くと思います。

最後に、今回の内容は農家以外の多くのみなさんにも聞いていただきたい内容でした。農業の課題は、単に生産者のみにあるのではなく、生活者全体で考えるべき重要な事柄です。今後は一般町民にも呼びかけていただき、このような学習の機会をより多くつくっていただきたいと思います。ありがとうございました。



て宮崎県のマンゴを栽培している農家と北海道の音楽をミニトマトに聴かせて栽培している農家の話がありました。

共に、経営者の考え方でありまたその経営感覚がすばらしいとのことでした。

これからの農業は先ず人づくりだと言います。二十一世紀の農業の担い手として、人材育成は欠かせない必要条件となっているのです。

玉造町でも農業を継ぐ若い人たちが少数ですが出てきています。しかし、本町農業の担い手としての数にはまだまだ遠く及びません。

室井先生がこの講演で力説したような農業の考え方が全国に広まれば、農業後継者も増えて行くと思います。

最後に、今回の内容は農家以外の多くのみなさんにも聞いていただきたい内容でした。農業の課題は、単に生産者のみにあるのではなく、生活者全体で考えるべき重要な事柄です。今後は一般町民にも呼びかけていただき、このような学習の機会をより多くつくっていただきたいと思います。ありがとうございました。

私の提案

テーマ

・日常生活や地域での課題など、町政に関する自由なご意見をお書き下さい。

あなたの
ご住所
お名前
電話番号



町の木(さくら)



町の鳥(つぐいす)



泉地区滝の入・天竜に湧いた多量の水は、姥ヶ池のある中根谷の水を合わせ萩根川として流をつくってきました。

鳥名木土地改良事業で耕地整理が済み直線となった萩根川が農業用水路として現在に生きています。

古老によれば、「娘を大鰻に吞み込まれた鳥名木の殿様が、憎き鰻を毒矢で射ると、大暴れし池の堤を破りながら絶えた」

霞浦の橋とくらし



といいます。そして「この時池が決壊し、池にあった権現様は流され高須地区に祀られた」ともいいます。

『常陸国風土記』の遺称地とされる泉の椎井池も戦時中の頃までは『ムクレン』とか呼ばれ、水面を盛り上げるほどの湧水があったと聞きます。地名を見ると、萩根川沿いには水に関係するものが多くあることが分かります。

萩根川の橋

土地改良前の地名をあげてみると、滝の入、天龍、大堤、姥ヶ谷、小池、内田谷、トナキ谷、中根谷、深溝、宮平沼、流、新溝、中溝、川端、川合等の地名がありました。

国道三五五号が渡る萩根川には名も無き小さな橋が架かり、道路脇上流には水門があり青々とした水田に水を送り込んでいました。

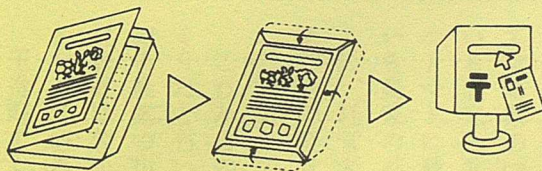
また、萩根川では昭和四十年代まで小さな『八つ目鰻』が捕れたようです。うなぎ塚はじめ伝説を多く持つ萩根川流域は、いつまでも神秘的なふるさと空間をつくっています。

あなたの声を町政に



- ・玉造町では、より多くの皆さんのご意見をお聞きして、町政に反映させたいと考えています。
- ・提案やご意見等をこの用紙の裏面にご記入の上、切手を貼らずにお近くのポストに投函して下さい。

封筒のつくり方



- ①切り取り線に沿って紙面から切り取り、この面が外側になるように中央を折ります。
- ②あて先を下にして、のりしろを図のように貼り合わせます。
- ③切手を貼らずそのままお近くのポストへ投函してください。

料金受取人払

玉造局
承認

2

差出有効期間
平成10年5月
31日まで

(切手を貼らずに
お出しください。)

3 1 1 3 5

玉造町甲404番地
玉造町長
成島忠行